

2016年5月15日(日)付 山形新聞に掲載!!



芭蕉ゆかりの場所を巡り俳句を思索する参加者
＝新庄市・芭蕉乗船の地

芭蕉になった気分!!

初の選手権 俳句とハイク楽しむ

戸 沢

最上川舟下り ハイキングを楽しみながら
や羽黒古道の 俳句を詠む 「最上川・芭

蕉しろとハイク(俳句) 国際選手権」が14日、戸沢村などで開かれ、参加者が新緑の山や川を満喫した。

最上川・陸羽西線活性化委員会(高橋茂会長)が主催し、初めて企画。県内各地から約30人が参加した。一行は新庄市の「芭蕉乗船の地」などを見学した後、戸沢村で舟下りを体験。参加した大場雅子さん(65)は

河北町谷地は「俳句は苦手だけど、ハイキングと初めての舟下りは楽しみ」と語った。

庄内町の羽黒古道で約3キロのトレッキングにも挑戦し、旅の最後に1人2句ずつ俳句を披露。参加者同士で投票し、最も票数が多かった芭蕉賞に庄内町余目、鎌田準一さん(66)の「清流に映すわが身も 芭蕉かな」が選ばれた。